



株式会社ウイルテック

東京証券取引所市場第2部

証券コード：7087

2021年3月期

決算説明資料

2021年5月14日

ディスクレームー

- **資料内の業績数値について**

当資料に記載する数値は、以下を前提にご覧ください。

監査法人により監査済	2019年3月期 2020年3月期 2Q・3Q・4Q 2021年3月期 1Q・2Q・3Q・4Q
未監査	2020年3月期 1Q

- **数値に関する注意事項**

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

ウイルテック・グループの主要4事業



EMS事業

- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



ITサポート事業

(2020年12月より新設)

- ITエンジニア派遣：SE・PG・IT基盤/運用等
- 請負開発：社内開発

その他



マニファクチャリング サポート事業

- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス



コンストラクション サポート事業

- 建設系技術者派遣
- 建設に関する教育・研修サービス



2021年3月期
決算概要

5



2022年3月期
業績予想

17




トピックス

23



APPENDIX

27

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

2021年3月期 決算概要

2021年3月期決算ハイライト

当期は新型コロナウイルス感染症拡大が経済活動に多大な影響を与え、当社グループにおいても、主要顧客先での減産や稼働時間減少の対応を余儀なくされました。

大変厳しい環境の中、当社グループは、経営理念に沿い、グループ従業員の「雇用維持と育成」を最優先事項として従業員の安心感の醸成に取り組んだ1年となりました。

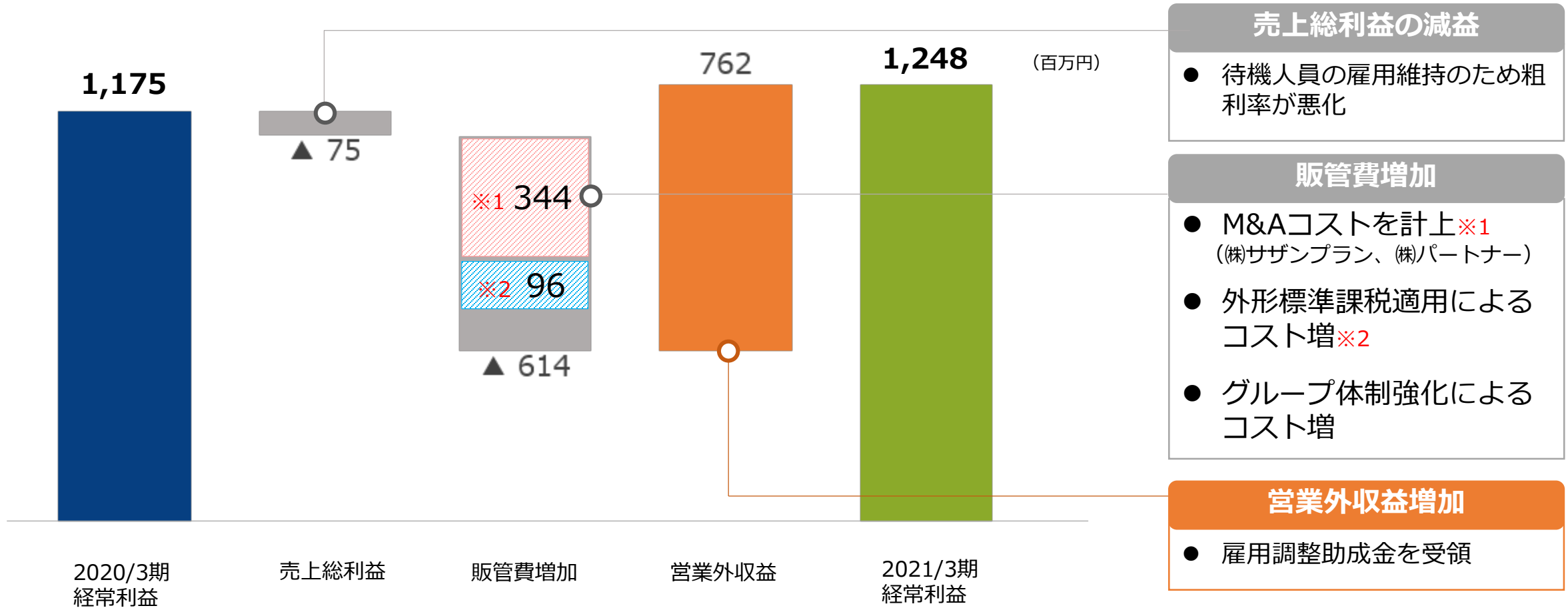
2021年3月期決算概要

- M&Aによりグループインした2社の業績寄与により増収となるも、コロナ禍影響により営業利益で減収

(百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績	前年比		計画 (2021.3.1)	計画比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	24,800	25,277	+477	+1.9%	25,158	+119	+0.5%
営業利益 (営業利益率)	1,129 (4.6%)	440 (1.7%)	▲689 (▲2.9p)	▲61.1%	361	+79	+21.9%
経常利益 (経常利益率)	1,175 (4.7%)	1,248 (4.9%)	+72 (0.2p)	+6.2%	1,114	+134	+12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	765 (3.1%)	780 (3.1%)	+15 (0p)	+2.0%	663	+117	+17.6%
一株当たり当期純利益 (円)	146.14	125.56	▲20.58	—	106.67	+18.89	—
ROE (自己資本利益率) (%)	14.0	11.9	▲2.1p	—			

経常利益増減要因分析

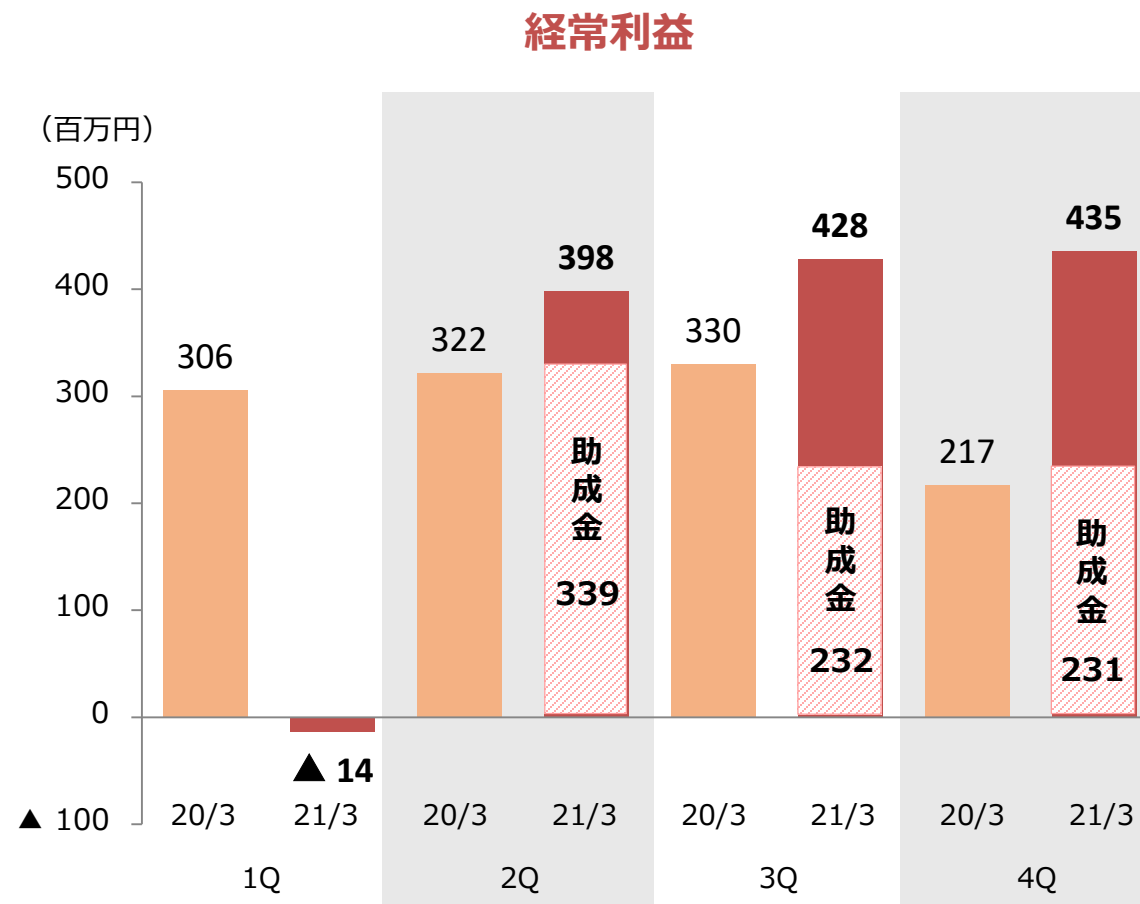
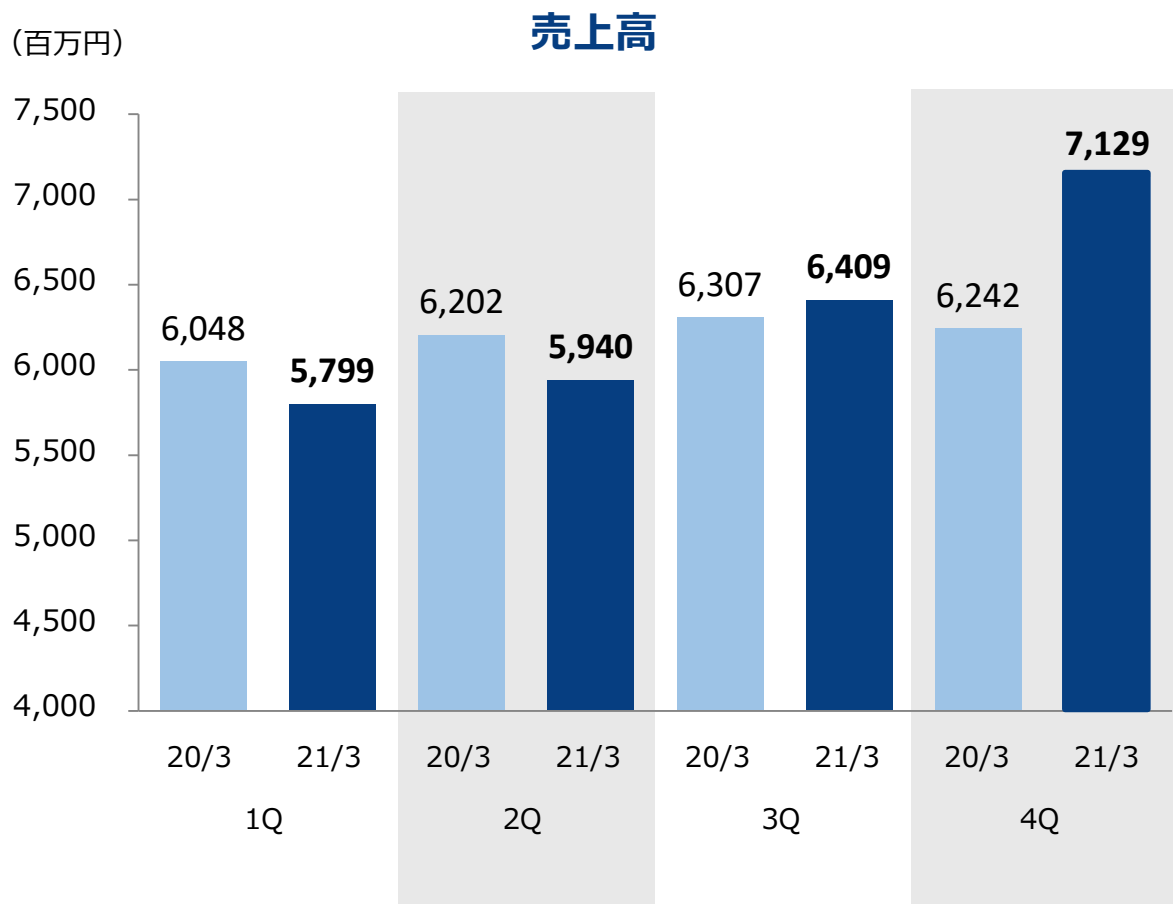
- 売上の回復に伴う労務費率の改善により、売上総利益の減少は小幅にとどまる
- M&A費用等で販管費が増加した一方、営業外収益として雇用調整助成金等を計上し経常利益は前期上回る



2021年3月期業績推移（四半期単位）

【売上高】 12月から業績寄与したITサポート事業を除いても、4Q期間で見れば昨対比3.2%の増収

【経常利益】 助成金を引いても、M&Aや上場にかかる費用等を含めても前年同等水準まで回復しつつある



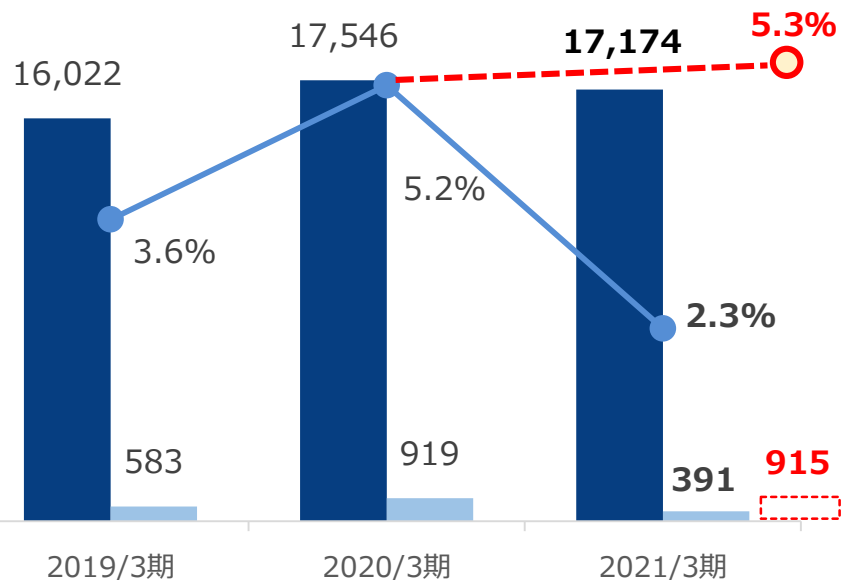
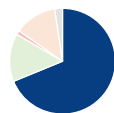
セグメント別業績推移

(単位：百万円)



マニファクチャリングサポート事業

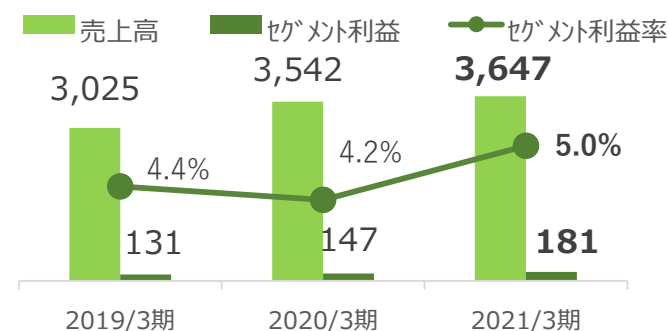
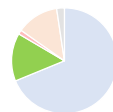
■ 売上高 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率



- 下期売上高では前期比101.6%
- 12月以降はセグメント利益も前期並みに回復

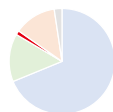
※赤点線：雇用調整助成金を入れたセグメント利益とセグメント利益率

コンストラクションサポート事業



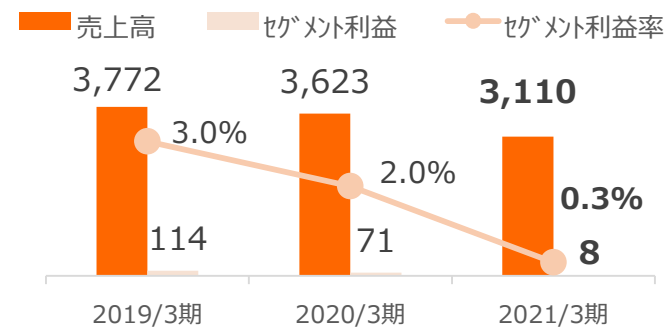
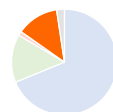
- 売上成長は稼働人数の減少により鈍化
- 単価見直しにより営業利益は大幅な良化

ITサポート事業 (2020年12月新設)



- グループイン以降の稼働率が平均95%以上と高水準

EMS事業



- 年間通じて前年同月比で減収減益が続くなか、新たな市場開拓に注力

セグメント別業績 マニファクチャリングサポート事業

- IoT関連や空気清浄機等の空調関連の製造が活発化し受注好調
- 半導体不足により車載等の電子部品デバイス製造や輸送関連製造が減少

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期	2021/3期	前年比	
			増減額	増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	4,635 (26.4%)	4,087 (23.8%)	▲548	▲11.8%
情報通信機械器具 製造業	4,075 (23.2%)	4,688 (27.3%)	+613	+15.0%
電気機械器具製造業	2,374 (13.5%)	2,604 (15.2%)	+230	+9.7%
その他	6,463 (36.8%)	5,795 (33.7%)	▲668	▲10.3%
合計	17,546 (100%)	17,174 (100%)	▲372	▲2.1%

電子部品・デバイス・ 電子回路製造業

前期比 ▲11.8%



テレワークの拡大に伴い半導体が通信機械器具に優先的に供給され、加えて半導体工場の火災や天災等で半導体製造自体も減少。海外向けの半導体製造装置の大幅減産や車載関連の減産も影響

情報通信機械器具製造業

前期比 +15.0%



テレワーク拡大も相まってIoT及び5G設備関連企業への受注が好調

その他

前期比 ▲10.3%



輸送用機械製造（自動車産業）で大幅な減産。生産用機械器具製造（特に産業用）も減産となり産業用機械器具製造の回復にも遅れ

セグメント別業績 コンストラクションサポート事業

■ コロナ禍でも契約単価の向上が継続。売上成長の維持と原価率改善による営業利益の良化を同時に実現

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期	2021/3期	前年比	
			増減額	増減率
人財サービス事業	3,463 (97.8%)	3,566 (97.8%)	+103	+3.0%
(内建築分野)	1,411 (39.8%)	1,362 (37.3%)	▲49	▲3.5%
(内建築設備分野)	1,545 (43.6%)	1,720 (47.2%)	+175	+11.3%
(内その他分野)	507 (14.3%)	485 (13.3%)	▲22	▲4.3%
請負・受託事業	77 (2.2%)	81 (2.2%)	+4	+5.2%
合計	3,542 (100%)	3,647 (100%)	+105	+3.0%

建築分野

前期比 ▲3.5%



- 新規着工の時期変更や見合わせにより、人財需要が減少。新規派遣の停滞と解約増加により前期比割れ
- 収益性は契約単価向上による原価改善により改善

建築設備分野

前期比 +11.3%



- 縮小傾向にある建設市場の中にあっても、建設設備分野は慢性的な人材不足で人財需要は堅調に推移
- 空調衛生分野でのリニューアル工事に伴い増員、堅調に推移
- 契約単価向上による原価改善により収益性が改善

セグメント別業績 ITサポート事業（2020.12月より新設）

■ 子会社化した株式会社パートナーが推進する事業領域

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 (4か月換算)
システム開発 【アプリケーション】	723 (79.1%)
(内WEB系)	336 (36.8%)
(内オープン系)	179 (19.6%)
(内汎用系)	71 (7.8%)
(内ERP)	135 (14.8%)
その他	191 (20.9%)
合計	914 (100%)

システム開発 【アプリケーション】

アプリケーション開発が全体の約8割を占め、そのうちWEB系、オープン系のシステム開発がメイン。汎用系のニーズは少ないものの、レガシーな技術として一定の需要。今後はERP/CRMの基幹パッケージ需要に対応

その他

対象領域は基盤系システム開発をはじめ、ネットワーク構築、組み込みソフト開発など。低スキルから安定的なニーズのある保守管理などは強化

セグメント別業績 EMS事業

- コロナ禍による生産縮小が続き、特に設備関連（物流・医用機器・繊維機械・工作機械）の在庫調整が長期化

(百万円) (括弧内：構成比)	2020/3期	2021/3期	前年比	
			増減額	増減率
デバイス	2,031 (56.1%)	1,586 (51.0%)	▲443	▲21.8%
ユニット	1,591 (43.9%)	1,524 (49.0%)	▲67	▲4.2%
合計	3,623 (100%)	3,110 (100%)	▲512	▲14.1%

デバイス

前期比 ▲21.8%



物流関連および医用機器向け商材の在庫調整による減販が響く。装置丸ごと受注による上積み調整を行うもリカバーしきれず

ユニット

前期比 ▲4.2%



繊維機械や工作機械の在庫調整長期化によるマイナス分を、下期からの半導体製造装置増産でカバー。また助成金需要（GIGAスクール構想や農業関連設備投資）テーマによるリカバリーも行い、減少分を補完

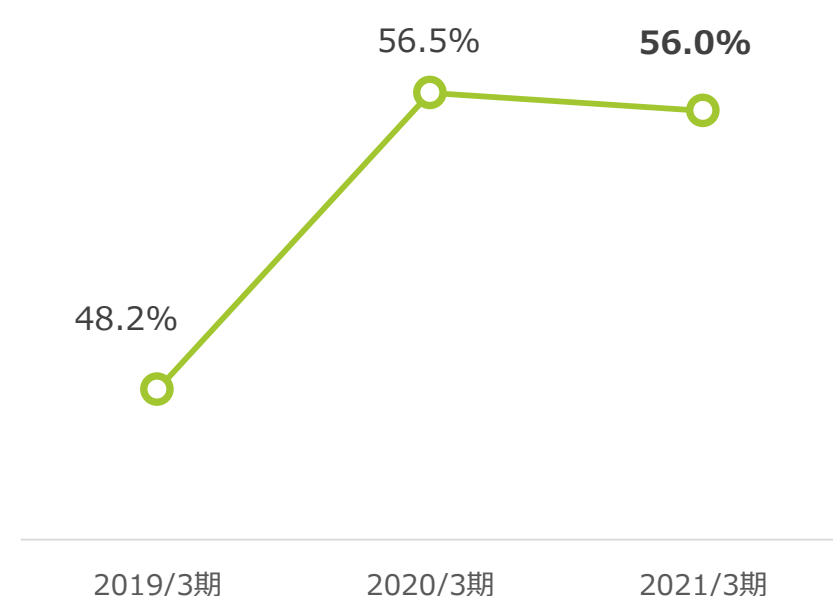
連結貸借対照表の状況

【資産】 2社M&Aによりのれん（無形固定資産）及び繰延税金資産が増加

【負債】 退職給付引当金、未払費用及び未払法人税の増加

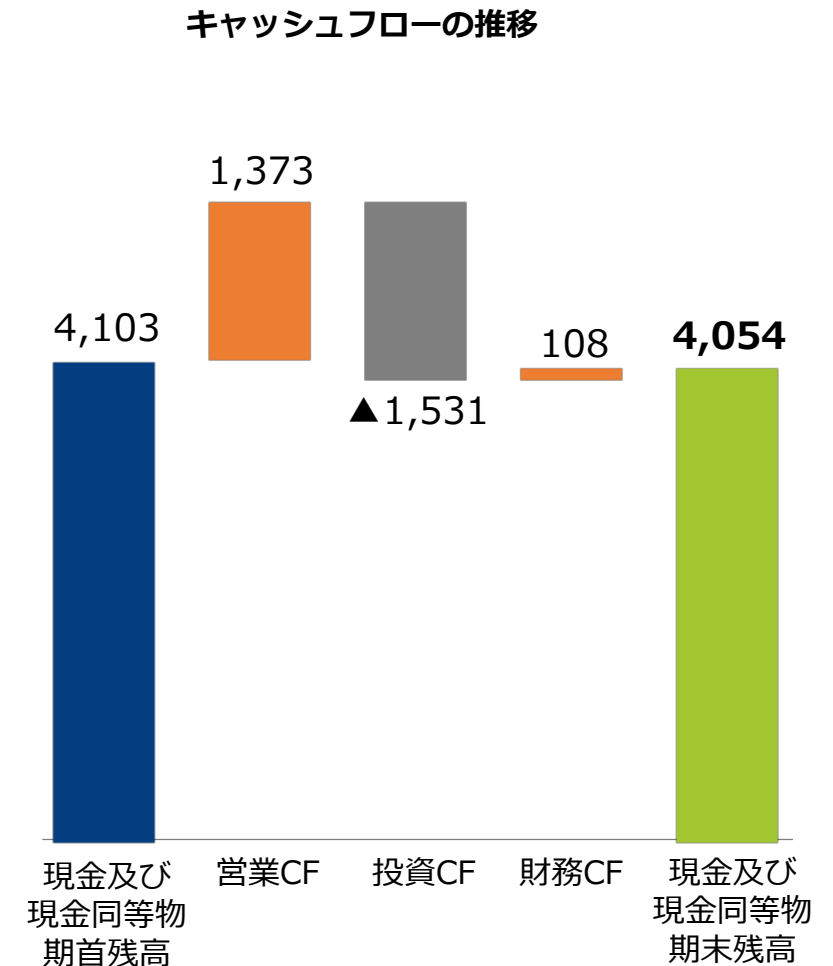
(百万円)	2020/3期	2021/3期	増減
流動資産	9,573	9,599	+ 26
現預金	4,535	4,547	+ 11
売掛債権	4,299	4,295	▲ 3
棚卸資産	277	324	+ 47
固定資産	1,438	2,692	+ 1,253
(内 のれん)	—	724	+ 724
総資産	11,011	12,291	+ 1,280
負債	4,785	5,413	+ 628
買入債務	413	456	+ 43
有利子負債	940	1,177	+ 236
未払費用	1,505	1,635	+ 130
その他	1,926	2,143	+ 217
純資産	6,225	6,877	+ 652
負債純資産合計	11,011	12,291	+ 1,280

自己資本比率の推移



キャッシュフローの状況

(百万円)	2020/3期	2021/3期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	643	1,373	+729
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲153	▲1,531	▲1,378
フリー・キャッシュ・フロー※	490	▲158	▲648
財務活動によるキャッシュ・フロー	409	108	▲300
現金及び現金同等物の期首残高	3,204	4,103	+898
現金及び現金同等物の期末残高	4,103	4,054	▲48



※フリーキャッシュフロー＝「営業活動によるキャッシュ・フロー」－「投資活動によるキャッシュ・フロー」



2022年3月期 業績予想

事業環境認識と顧客ニーズ

		業界	今期需要見通し (昨年度との比較)	人財ニーズ・事業機会
マニファクチャリング サポート事業	製造請負・ 製造派遣事業	輸送用機械	○	自動車部品系の製造は回復傾向。半導体不足影響如何によっては生産調整は今後も発生する可能性あり
		情報通信・半導体	◎	5G関連では今後も増産傾向継続の見込み。 5G以外では横ばい、若しくは若干の増産見込み
		生産用機械	△	今後も新型コロナウイルス感染状況を踏まえた渡航禁止措置の有無により、増減産が左右されるものの、概ね増産傾向
	機電系技術者 派遣事業	IT	○	RPA、DX関連が上向き。システム、アプリ開発、インフラ構築、クラウド関連で多くの人財ニーズ
		自動車	△	コロナ禍による世界的な自動車販売不振を引きずり、新規の開発予算、外部人材は引き続き抑制的。EV関連のみ開発強化
		半導体	◎	5G関連中心に投資は伸びる見通し。車載系も増加傾向
	修理サービス 事業	業務用機器・設備	○	コロナ状況がまだ先行き不透明感がありつつも、店舗向けITキャッシュレス化に伴う機器については、増加見込み
		太陽光発電	◎	太陽光発電はカーボンニュートラル社会への期待もあり、発電所需要や家庭電力の蓄電池システムの需要が引き続き見込める
	自動化設備	ロボット保守	◎	ロジスティクス、マテハン、ロボットメーカーなどは自動化、効率化の為の設備投資に積極的な一方、ロボットや設備の保守業務はアウトソースする傾向。DXの観点からも、保守に加え保全業務も自動化が進み現場における人財ニーズは高まると予測

事業環境認識と顧客ニーズ

	業界	今期需要見通し (昨年度との比較)	人財ニーズ・事業機会
コンストラクション サポート事業	建設	○	建設市場は縮小傾向も、建設技術者の有効求人倍率は増加に転じる。業界全体として、高齢化対策、コロナ収束後の人員準備、労働時間短縮対策などもあり、安定した人材需要が見込まれる
	建設設備	◎	建設市場は縮小傾向も、建築設備技術者は慢性的に不足。コロナ収束後の人員準備、労働時間短縮対策などもあるため、高い水準での人材需要が見込まれる
	請負・受託事業	◎	建設投資は縮小傾向も、大型リニューアル工事受注があり堅調に推移する見込み
ITサポート事業	情報通信	○	金融関連含めて、クラウド対応、仮想化技術、ERPなどのプロジェクトに人材ニーズが出始めている
	サービス業、その他	○	IT、デジタル技術を利用した企業価値向上のための動きはサービス分野でも顕在。コロナ禍の収束に伴う業績改善に応じて、需要の回復を見込む
EMS事業	設備（織機、工作機械、物流設備）	△	全体的には回復傾向も一部分野や海外市況の回復にはもう少し時間を要する。また、半導体や材料不足による生産調整も危惧
	設備（半導体製造装置）	◎	車載および5Gインフラ投資案件に加え、中国市場における設備投資案件も増加。計画以上の上振れ見込み
	設備（医療機器）	○	F A系を中心とした商材不足により先行した手配の動き、受注残は増加傾向

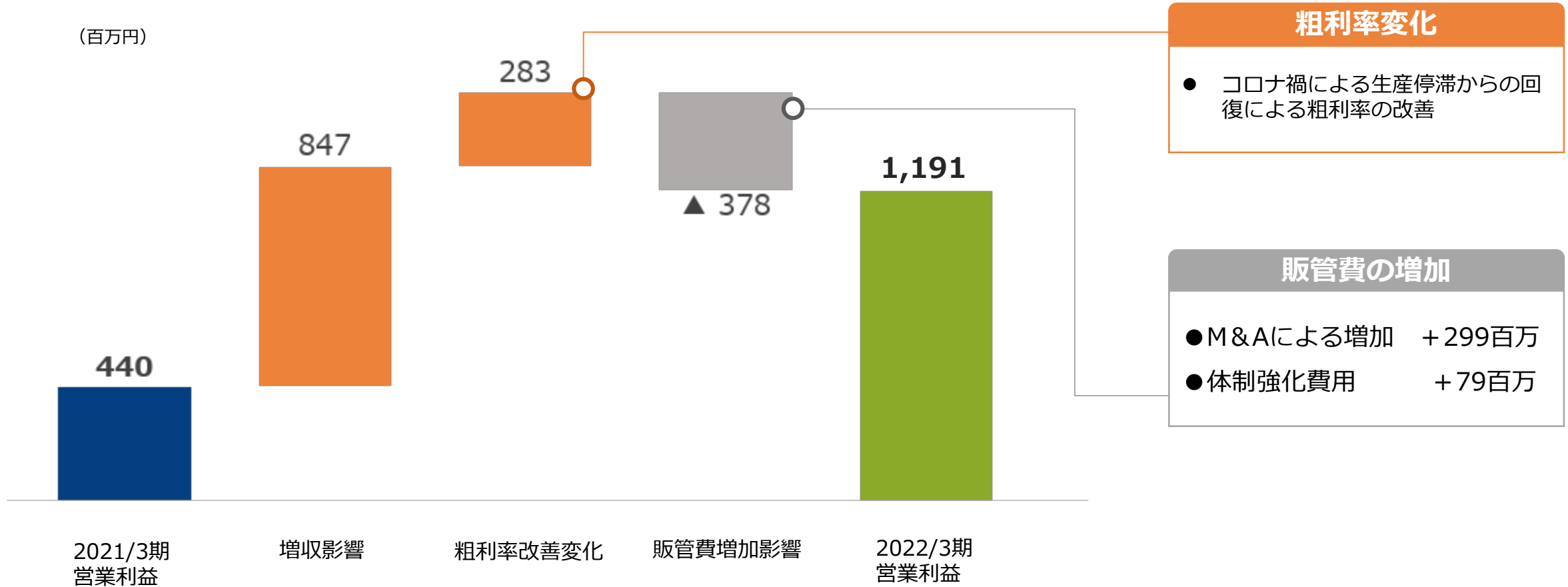
2022年3月期業績予想

(百万円)	2021/3期 実績	2022/3期 計画	前年比	
			増減額	増減率
売上高	25,277	31,189	+5,912	+23.4%
マニュファクチャリングサポート事業	17,174	19,530	+2,355	+13.7%
コンストラクションサポート事業	3,647	4,602	+954	+26.2%
ITサポート事業	914*	2,890	—	—
EMS事業	3,110	3,570	+459	+14.8%
営業利益 (営業利益率)	440 (1.7%)	1,191 (3.8%)	+751 (+2.1p)	+170.8%
マニュファクチャリングサポート事業	391	820	+428	+109.5%
コンストラクションサポート事業	181	230	+48	+26.5%
ITサポート事業	25*	116	—	—
EMS事業	8	79	+70	+875.0%
経常利益 (経常利益率)	1,248 (4.9%)	1,242 (4.0%)	▲6 (▲0.9p)	▲0.4%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	780 (3.1%)	774 (2.5%)	▲6 (▲0.6p)	▲0.8%
一株当たり当期純利益 (円)	125.56	123.43	▲2.13	▲1.7%
EBITDA	1,413	1,461	+48	+3.4%
ROE (自己資本利益率) (%)	11.9	10.9	▲1.0p	—

※ITサポート事業は2020年12月より新設のため2021/3期実績は4ヶ月換算

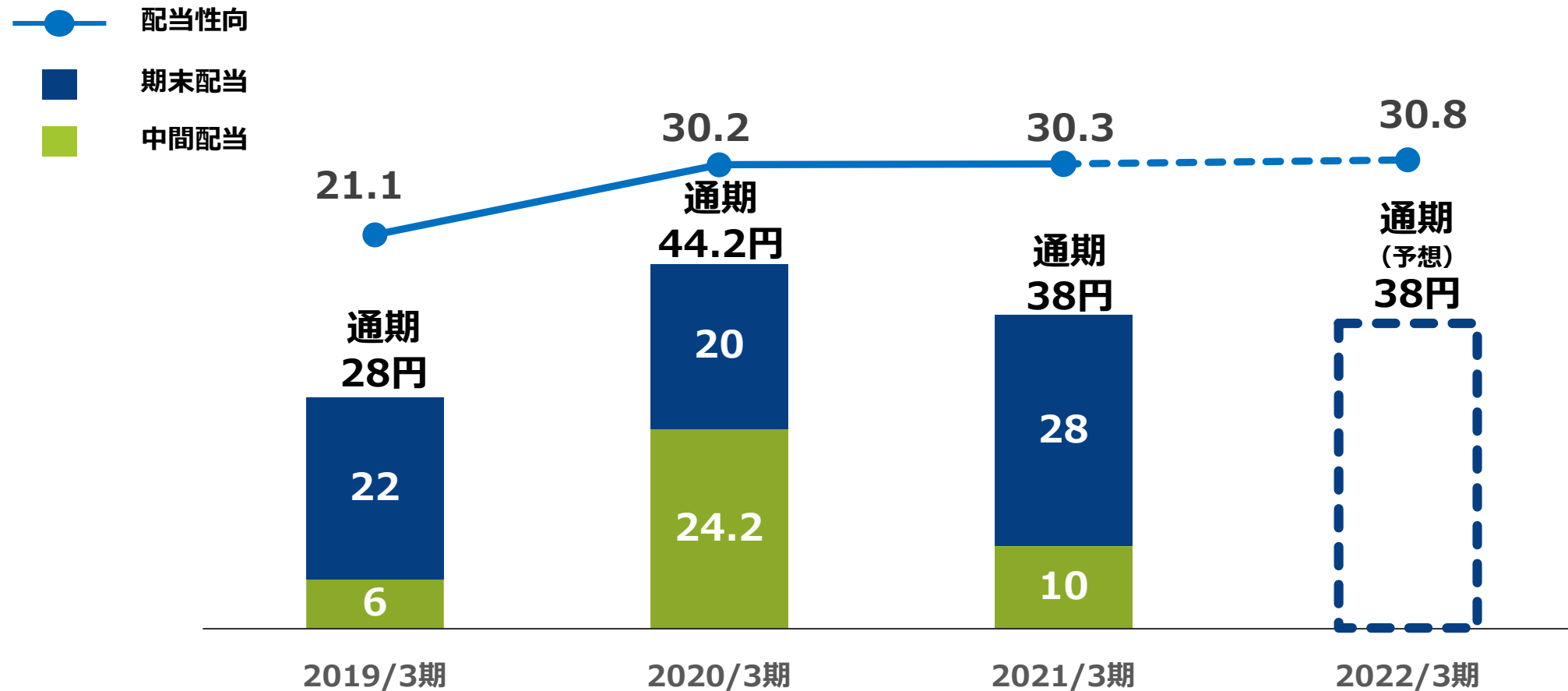
2022年3月期 営業利益増減要因分析予想

- 派遣人員の通常稼働による増収効果と労務費率の低減による粗利率の改善で、営業利益は大幅な改善見込み
- 販管費は人件費の増加や前期グループインした2社（サンプラン、パートナー）の関連経費で増加



配当計画

■ 株主還元を重視し配当性向は30%を維持

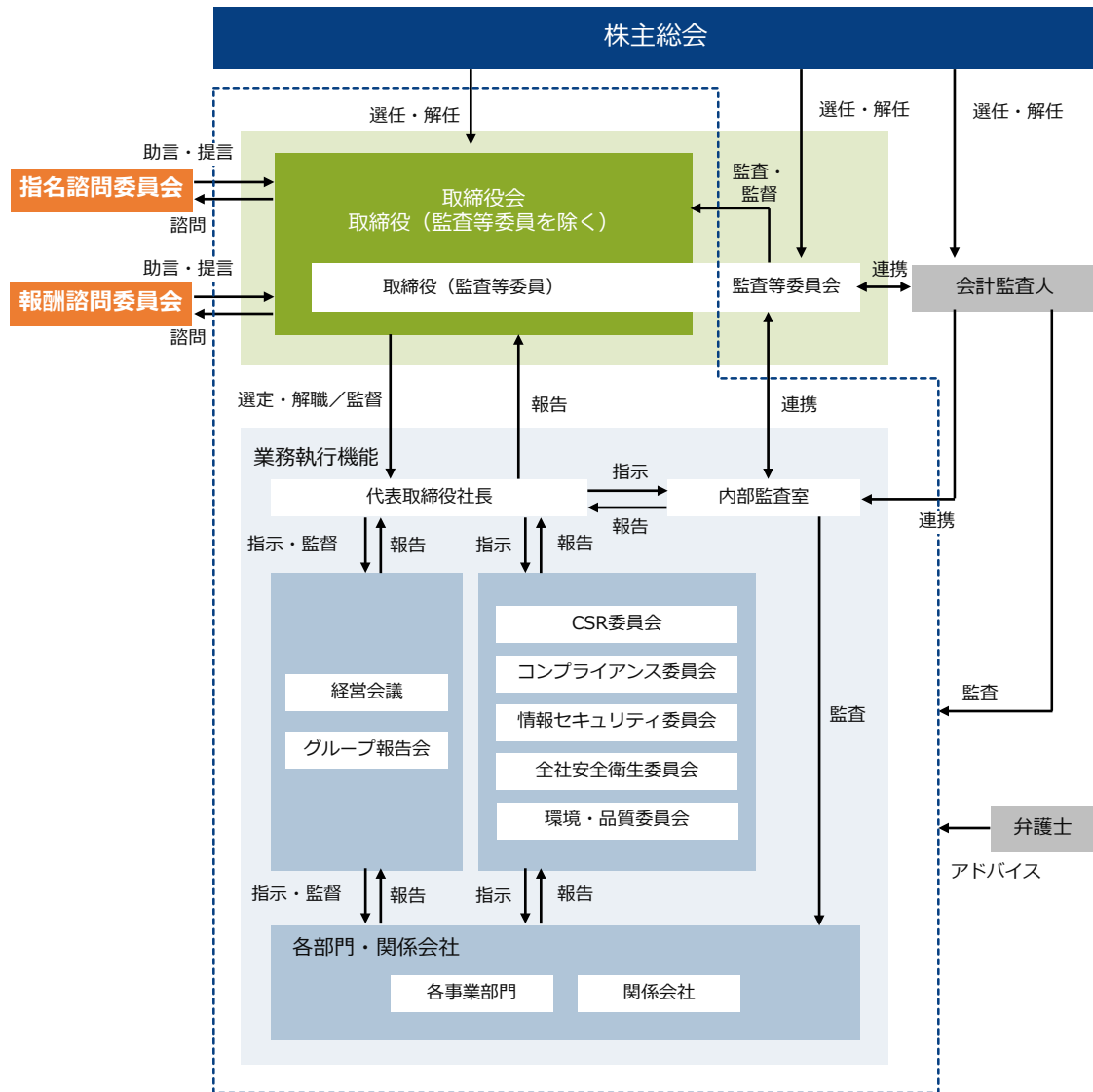


注) 当社は2019年10月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金額は、株式分割を考慮して算定しております。

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

トピックス

指名諮問委員会及び報酬諮問委員会を設置



設置の目的

取締役の指名や報酬等に係る取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任ならびにコーポレート・ガバナンス体制を一層充実させるため、取締役会の任意の諮問機関として「指名諮問委員会」及び「報酬諮問委員会」をそれぞれ設置

役割

各委員会は取締役会の諮問に応じて、以下の事項を審議し、取締役会に対して助言・提言

● 指名諮問委員会

- ① 取締役の選任及び解任に関する株主総会議案
- ② 代表取締役及び役付取締役の選定及び解職並びにその後継者プラン
- ③ 独立役員の実効性の基準
- ④ 前各号を決議するために必要な基本方針、規則及び手続き等の制定、変更、廃止
- ⑤ その他、前各号に関して指名諮問委員会が必要と認めた事項

● 報酬諮問委員会

- ① 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定に関する方針
- ② 取締役の個人別の報酬等の内容
- ③ 前2号を決議するために必要な基本方針、規則及び手続き等の制定、変更、廃止
- ④ その他、取締役及び重要な使用人の報酬等に関して報酬諮問委員会が必要と認めた事項

構成

各委員会の委員は、社長、独立社外取締役及び取締役会の決議により選任された取締役3名以上で構成し、その過半数は独立社外取締役とする。また、各委員会の委員長は、取締役会の決議により独立社外取締役の中から選定

ワットコンサルティングが技術者向け書籍を上梓

ジョブトレシリーズ

「実務につなぐAutoCADトレーニングブック」

出版文化社

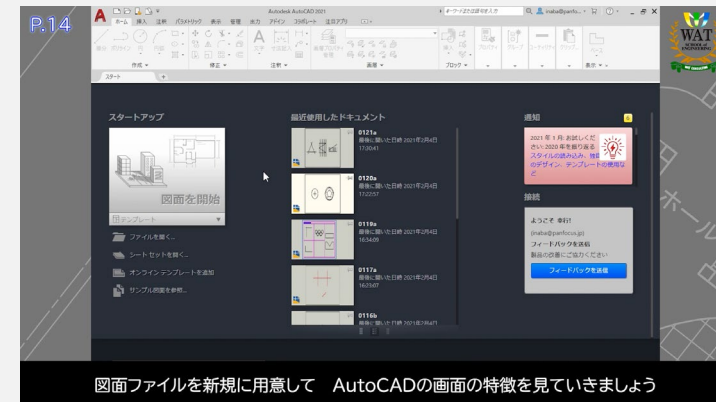
2021年
4月20日
発売



ワット・コンサルティングがこれまでに行ってきたAutoCADの研修内容を、1冊にまとめた完全オリジナル教材。建築実務未経験者が“独学で建築図面が描けるようになる”がテーマ

本書の特徴

- 本書内にあるQRコードを読み込むと各章の動画解説がナレーションとテロップ付きで視聴が可能
- 実際の講義を受講しているのと同じように解説を聞きながら操作手順を確認可能。
- 音声と動画を使うことでAutoCAD初心者の方にも取りつきやすい教材



解説動画イメージ

中期経営計画を公表予定

中期経営計画を公表予定
計画期間は2022年3月期～2025年3月期の4力年

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

APPENDIX

“ものづくり”を支援する会社

不易流行。私たちは創業来、
現場志向の発想を大切にしながら
ものづくりをご支援してきました。
スピードが増すニーズの変化にあわせ、
技術を絶え間なく進化させてきました。
ぶれない軸と挑戦の心を胸に
日本のものづくりの競争力向上に
貢献していきます。

代表取締役社長
宮城 力



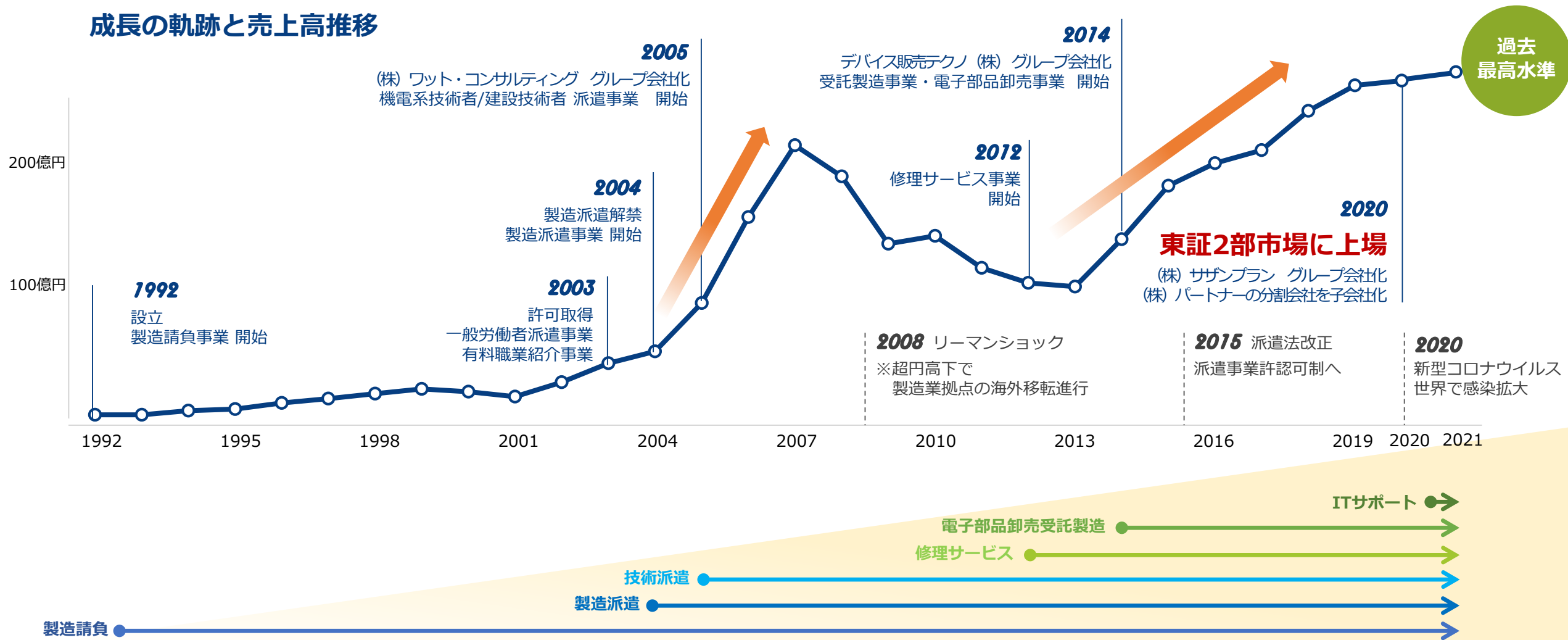
会社概要

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）			
代表者	代表取締役社長 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	126,050,000円（2021年3月末時点）			
役員構成	取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役 取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員）	石井 秀暁 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	25,277百万円（連結/2021年3月期）			
従業員数	5,265名（連結/2021年3月末時点）※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社サザンプラン 株式会社パートナー			

沿革

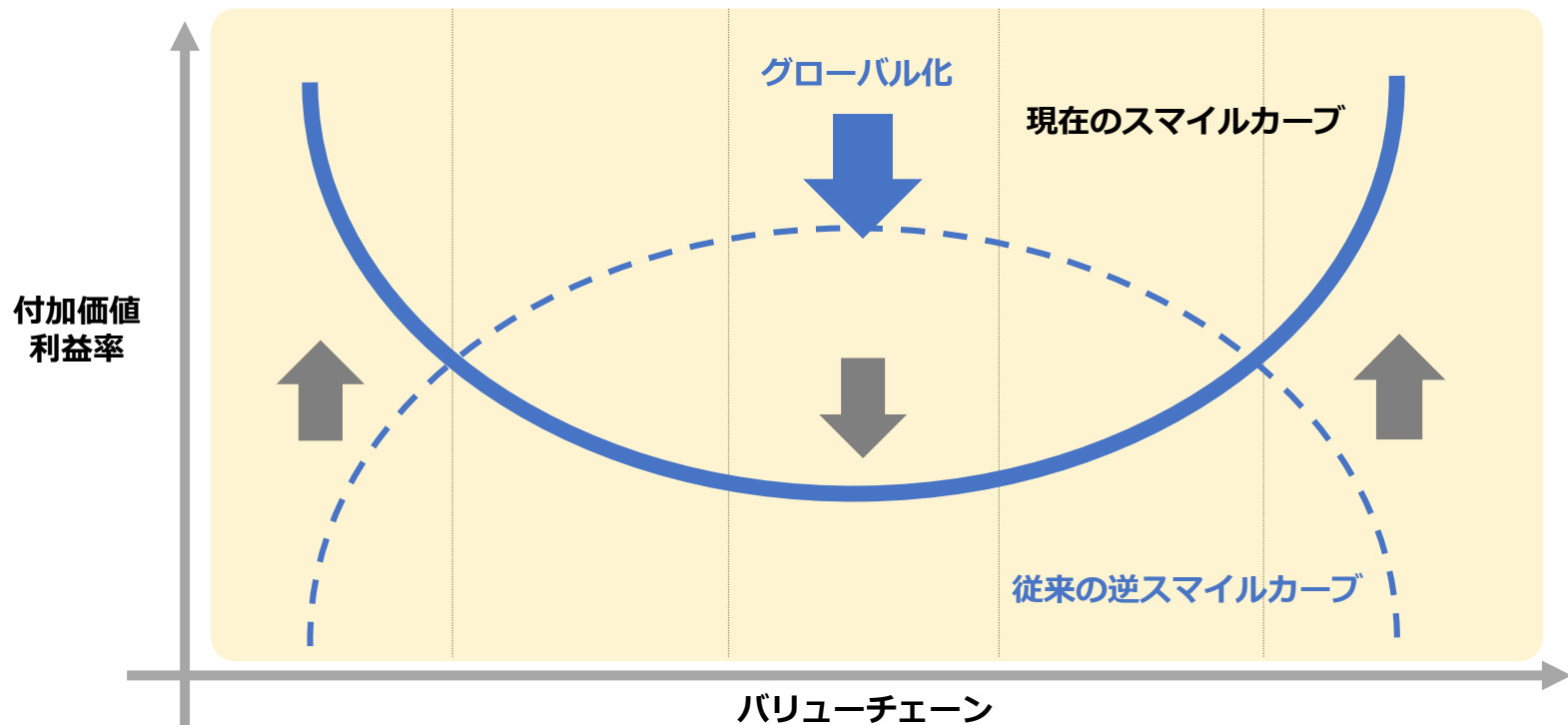
■ スタートは製造請負。業務領域と売上規模の拡大を追求し、現在売上高は過去最高水準に到達

成長の軌跡と売上高推移



当社グループのサービス提供価値

メーカーのバリューチェーンと変化



当社の重点領域



企画



開発・設計



製造・組立



流通・販売



メンテナンス・
アフターサービス

メーカーが抱える課題

スマイルカーブ
先鋭化への対応



危機耐性のある
バリューチェーンの
構築

当社の提供サービス

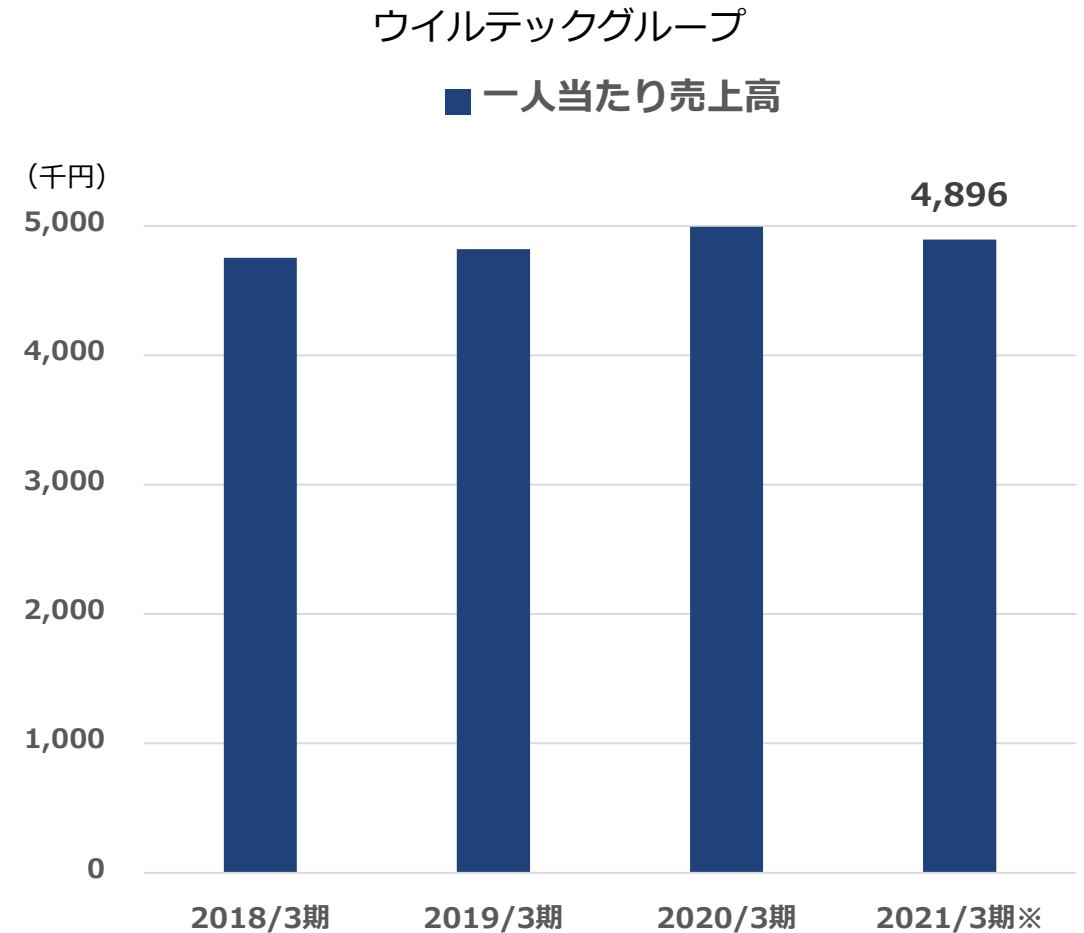
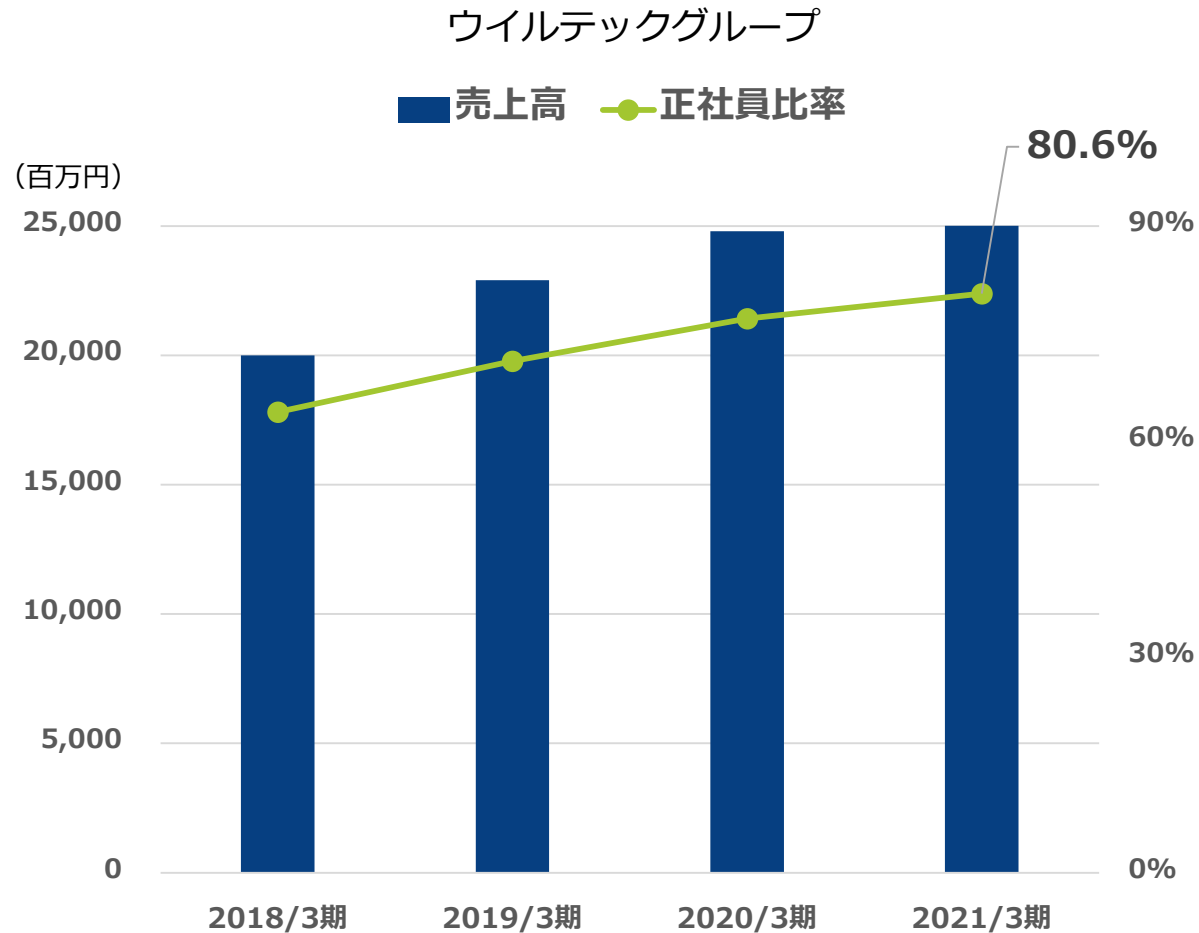
中流工程のアウトソーシングニーズを起点に周辺領域を含む
ワンストップ・パッケージ提案



国内回帰等による**安定的な**
バリューチェーンの構築に寄与する
迅速かつ柔軟なソリューション提供

当社グループの強み① 人財基盤

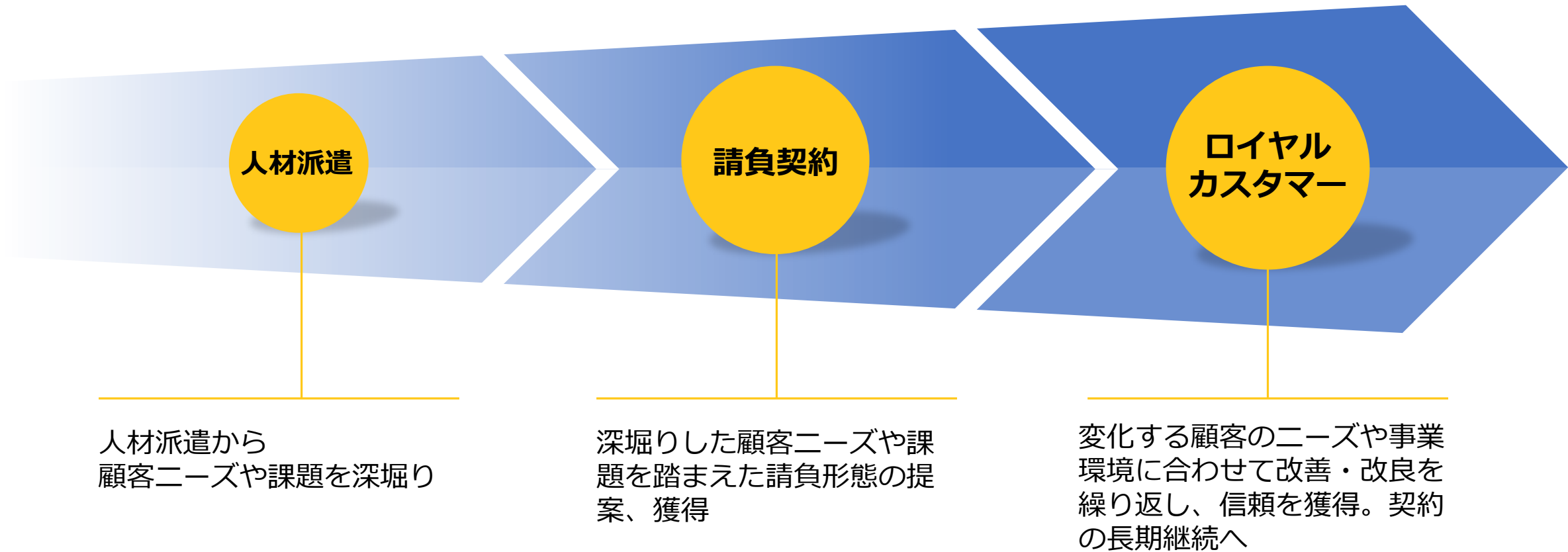
創業来「人財が成長基盤」と認識し、人財に積極投資。着実な業績向上を実現



※2021/3期は期中にグループインした(株)サザンプラン、(株)パートナーの業績および社員数を除いて算出しています

当社グループの強み② 長期顧客化

顧客ニーズの深掘りで信頼を獲得。契約継続年数は年々増加傾向



改善一番 Kaizen 1st

ベストプラクティスを共有

- 現場改善のベストプラクティスの共有と社員のモチベーション向上を目的に、2006年から毎年開催
- 製造現場のチームだけでなくバックオフィスのチームも参加し、全社的なイベントに成長
- このイベントが、各現場における改善提案の促進に貢献。生産効率、業務効率の向上に大きな成果



■ 当社（株ウイルテック）が製造請負・製造派遣、機電系技術者派遣、修理サービスをご提供

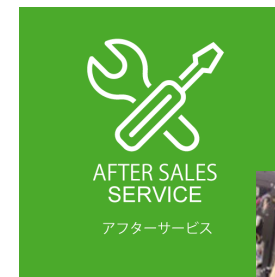
機電系技術者派遣事業

産業機械・装置メーカー、民生機器メーカー等に対して、設計関連に習熟した技術を持つ人材を派遣し、機械、電気・電子、ソフトウェア等に関する開発、設計を実施。未経験者への基礎研修や経験者への応用研修を行う研修センターを東京と大阪に設置



製造請負・製造派遣事業

- 製造請負** メーカーに対して、当社の生産技術力、品質管理力、労務管理力をもって製造・加工・検査等を行い、成果物を納品
- 製造派遣** メーカーを中心に、当社の従業員を派遣し、製造・加工・検査等を実施



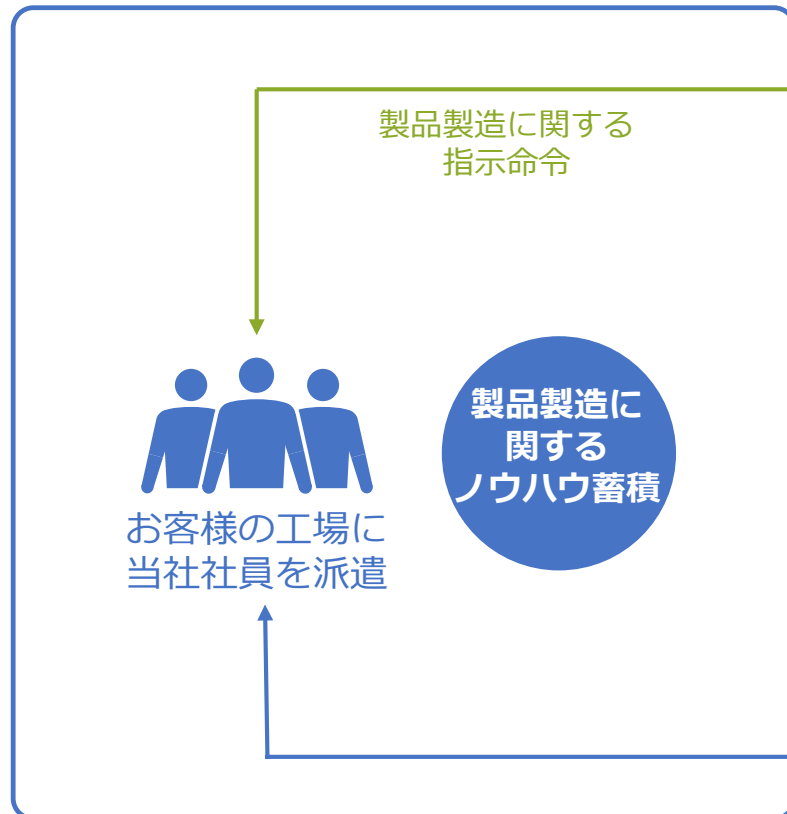
修理サービス事業

法人を顧客として、主に電源設備や電気機器の訪問修理や付帯するコールセンターの受託運営等を実施

■ 当社製造派遣・製造請負の流れ

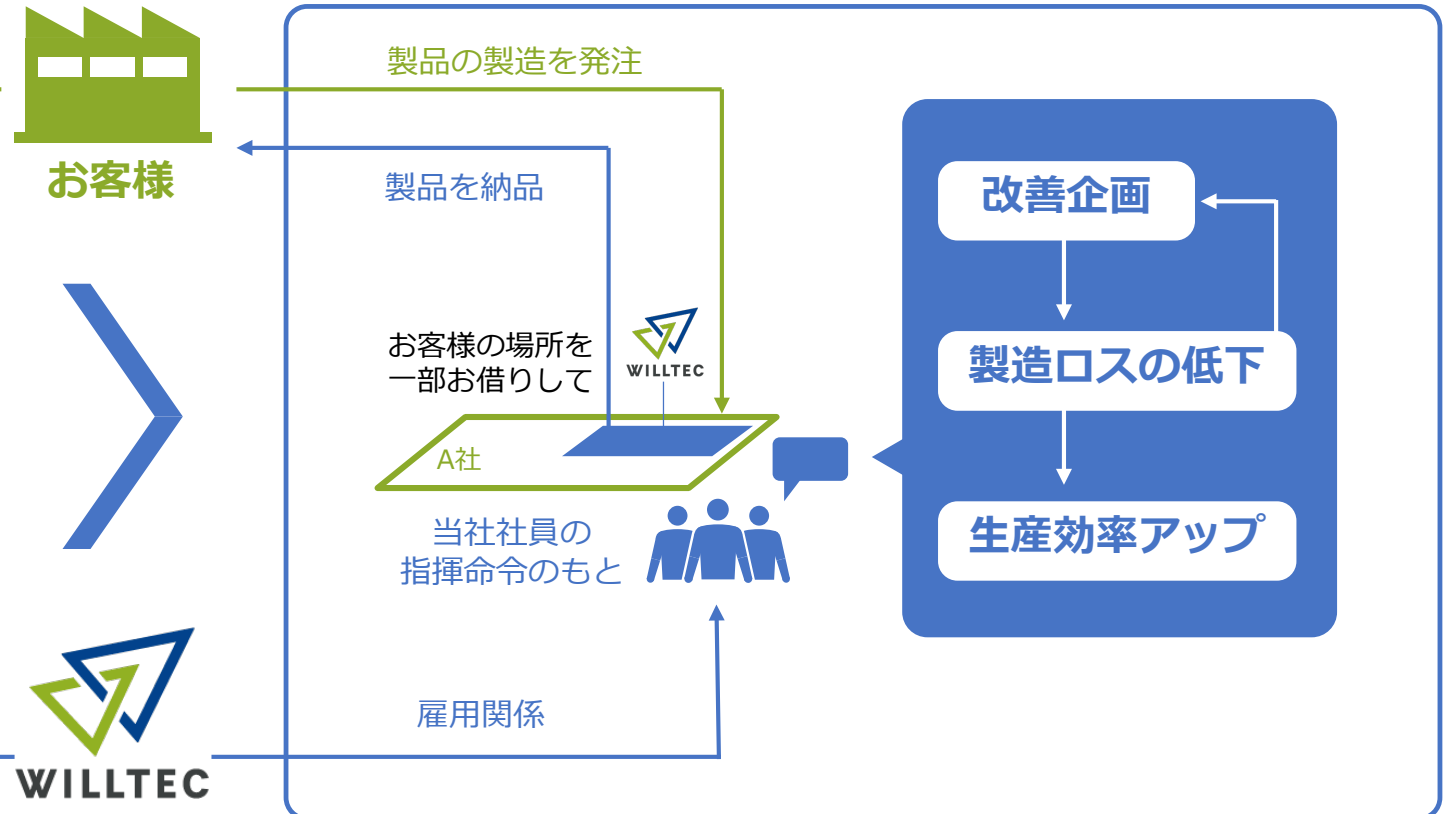
STEP1

製造派遣 売上 = 人数 × 時間単価



STEP2

製造請負 売上 = 納品数 × 製品単価



- 連結子会社である株式会社ワット・コンサルティングが建設系技術者派遣を実施

建設業界の発展に貢献すべく、3事業を軸に展開

人材サービス事業



建設プロジェクトを自分たちの仕事として捉え、「建築」「建築設備」「土木」「プラント」のフィールドを支える優秀な技術者を派遣し、業務遂行をサポートいたします。また、雇用リスクを低減できる紹介予定派遣、人材紹介も行っています。

建設事業



建築における電気設備工事の設計、施工及び請負の事業を行っています。電気設備技術者のOJTによる育成も積極的に取り組んでいます。

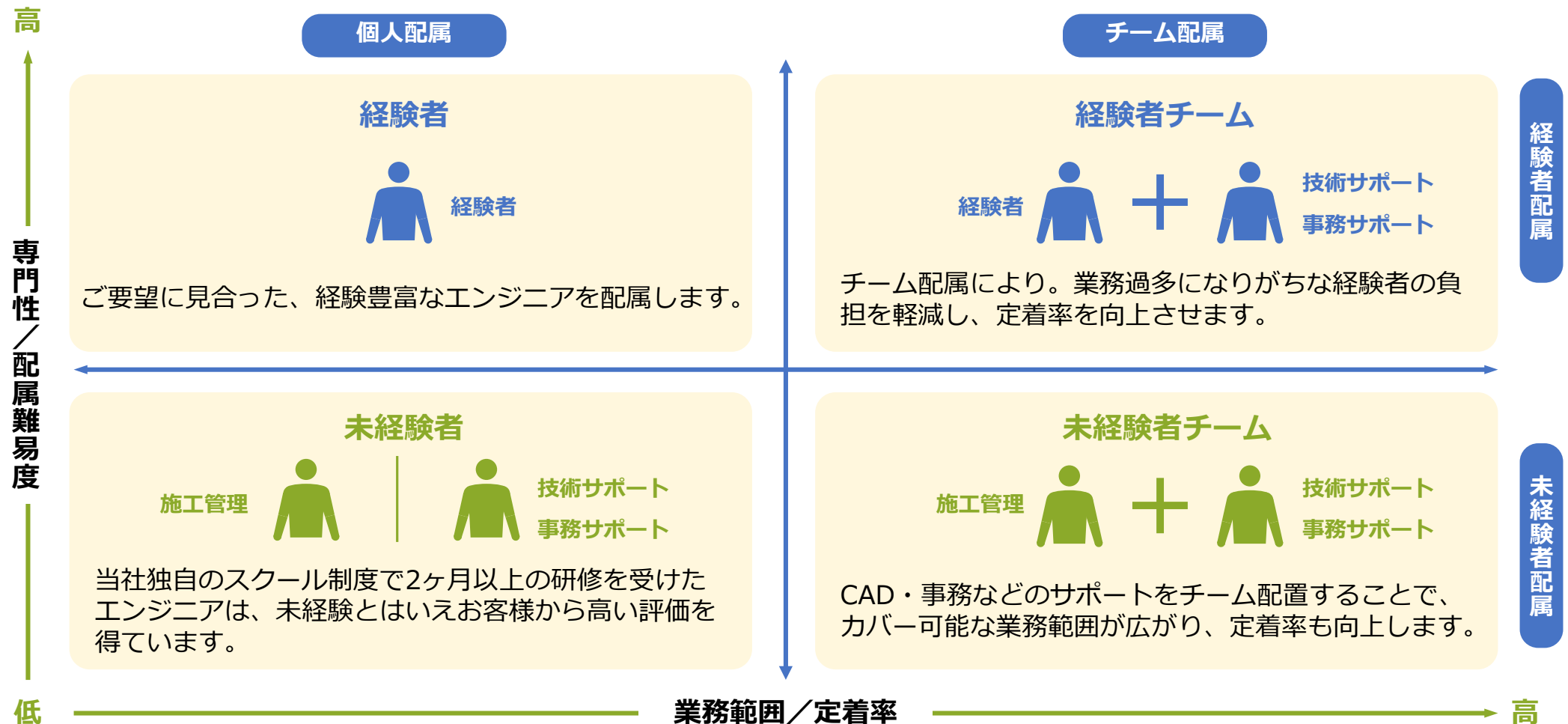
教育研修事業



鉄道会社様、ゼネコン様、設備系サブコン様をはじめ、建設系企業様より自社研修センターにおける若年技術者向けの技術研修やCAD研修などの受託も行っています。

- 経験者配属をはじめ、定着率が高いチーム配属など、お客様ニーズを満たすさまざまな配属提案を行っています。

配属提案のイメージ



■ 連結子会社である株式会社パートナーがIT系技術者派遣請負事業を実施

会社名	株式会社パートナー
設立	1996年3月1日 ※(株)ウイルテック子会社化以前の創業年
資本金	1,000万円
社員数	320名 (2021年3月31日時点)
株主	株式会社ウイルテック (100%出資)
事業内容	ソフトウェア開発・保守、インフラ構築・運用、 ユーザーサポート
資格/認定	一般労働者派遣事業〔派 13-315106〕 プライバシーマーク認定番号 第10823157号

特徴

顧客基盤

金融・証券・医療・通信・
サービス業など数多くの上場
企業様と長期にわたる取引実
績

幅広い対応

業界業種、プラットフォーム
や言語を問わず、ITシステム
の設計から開発、運用保守ま
で一貫サポート

サービス

IT業界で活躍する人材を育成、提供する企業として事業を展開

オープン系システム関連

JAVA、C++などによる業務系システム
の構築、運用、などで、金融、
メーカー、サービスなどの幅広い
業界向けのオープン系システムで
の人材ニーズにお応えしています。

ERP関連

SAP、McfameなどのERPの構築、
保守、運用に特化した人材を提供す
ることで付加価値の高い業務を行っ
ています。

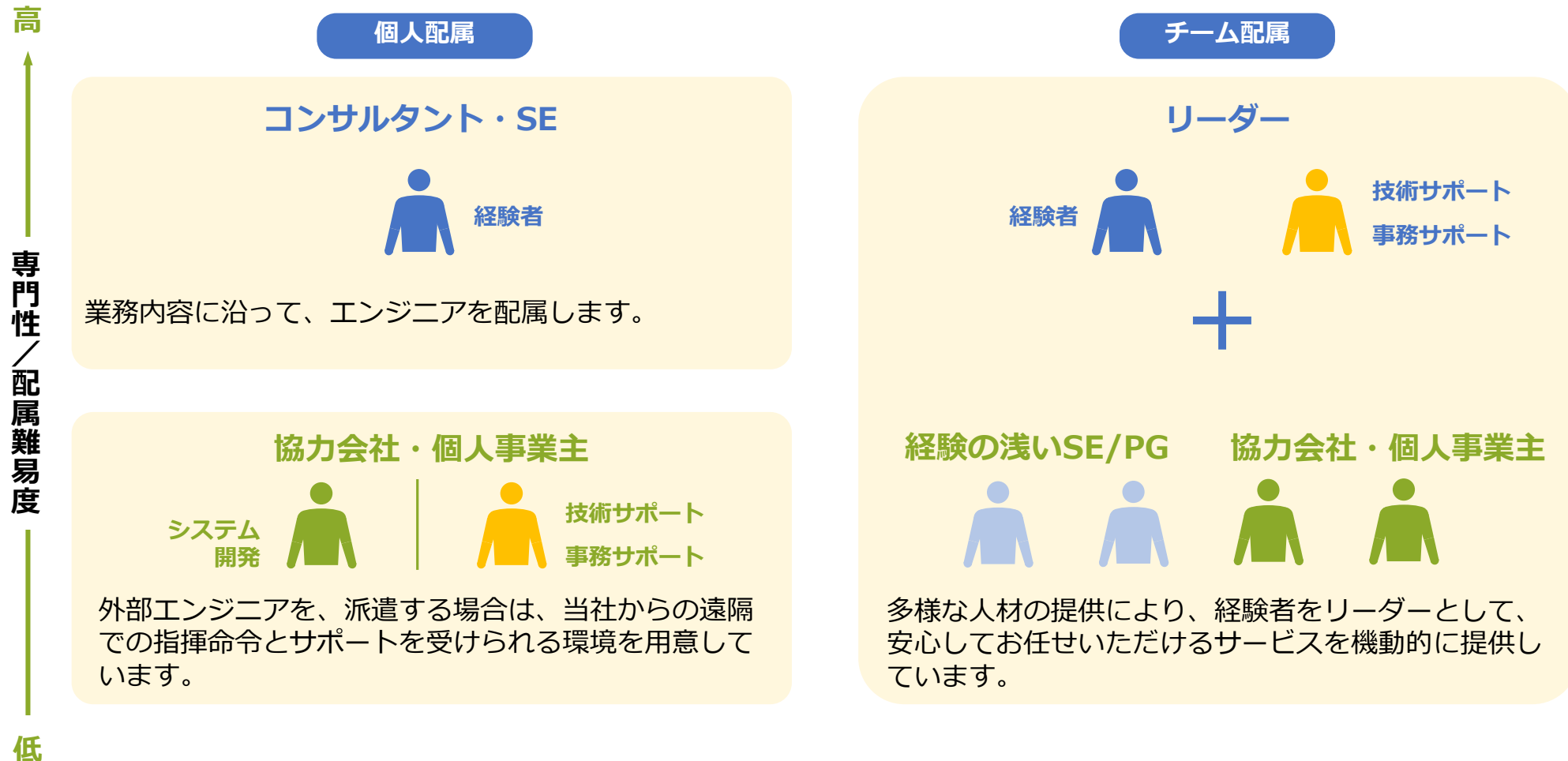
教育研修

専門性・ニーズの高い、高付加価値人材の育成

刻々と変化するITニーズにこたえるため、自社開発の研修プログラム、外部研修等の実施により、エンジニアの価値向上とキャリアの醸成を行っています。

- 経験者を中心としたチーム編成などで、知識と経験をくみあわせて、適時にお客様のニーズにお応えしています。

提案のイメージ



■ 連結子会社であるデバイス販売テクノ株式会社が受託製造、電子部品卸売を実施



受託製造事業

コストも重視し、必要機能に特化して
効率の良いユニットの開発・製造受託

制御



基板



通信



電源



国内工場（福島県）主要設備

品質保証体制ISO9001

環境保全活動ISO14001



電子部品卸売事業



システム機器



リレー



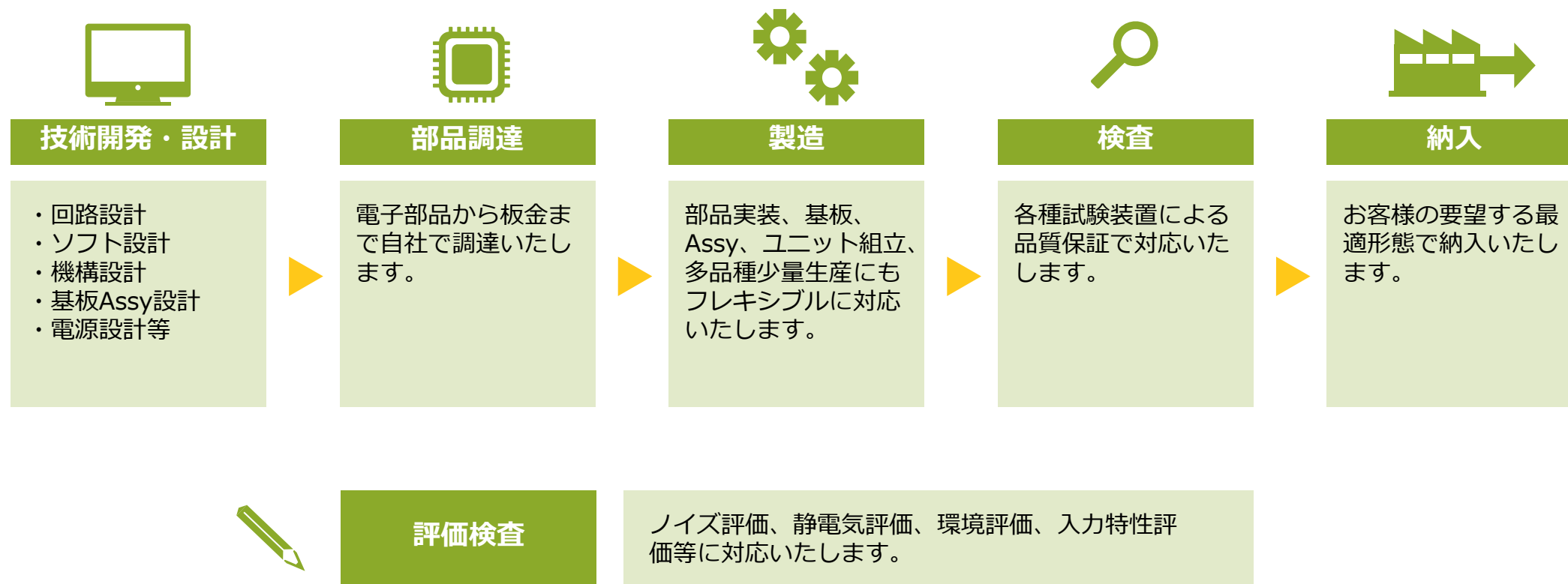
コネクタ



サーボモータ



お客様専用仕様による設計開発から納入まで一気通貫のものづくりで、ニーズにお応えします





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp